

第二東和会病院 病院情報セキュリティポリシー

1. 基本方針と目的

第二東和会病院（以下、当院という。）が取り扱う医療情報等には、患者様、ご利用者様の個人情報など、外部漏洩が発生すると極めて重大な影響を及ぼす情報が含まれているため、様々な脅威から防御する対策を講ずることは、患者様、ご利用者様の財産やプライバシー等を守るためにも、また安定的な病院運営を図るためにも必要不可欠と考えております。

当院のセキュリティポリシーは、病院情報セキュリティ対策の基本方針として、適用の範囲を定め、医療情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持し、セキュリティ対策を総合的に図ることを目的とします。

2. 適用範囲

- ①適用組織： 当院の各部署とする。
- ②適用情報資産： 当院の組織が管理する医療情報資産とする。
- ③適用対象： 適用情報資産を取扱う適用組織のすべての者（以下、「適用対応者」という。）とする。

3. セキュリティ対策

①物理的対策

情報システムを設置する場所への不正な立ち入りを防ぐため、入退管理対策を講じます。またデータの保存期間は法定期間以上の期間とし、機器管理対策を講じます。

②人的対策

情報資産にアクセスする適用対応者に対してアクセス権限を定め、適用対応者であっても不必要な情報資産へのアクセスを防止する対策を講じます。また、情報システム運用責任者を安全管理の責任者とし、情報漏洩の防止に努めます。

③技術的対策

情報資産を不正なアクセス等から保護するため、アクセス制御、コンピュータウイルス対策等の技術的な対策を講じます。

④運用セキュリティ対策

情報資産を取扱う適用対応者に対して、情報セキュリティ教育を実施し運用面における必要な対策を講じます。また、患者様、ご利用者様からの質問については、窓口を設置し迅速に対応いたします。

2021.4.1
医療法人東和会
理事長 大西恭子